



子どもたちが自然環境やモノを大切にすることを学ぶイベント 「MOTTAINAI キッズフェスティバル」 6月16日（土）エアポートウォーク名古屋にて開催！

ユニー株式会社（本社：愛知県稲沢市、代表取締役社長：佐古 則男）は、持続可能な循環型社会の構築を目指す世界的な活動「MOTTAINAI キャンペーン」の一環として、マルハニチロ(株)協賛のもと、2018年6月16日（土）、エアポートウォーク名古屋（愛知県西春日井郡）にて「MOTTAINAI キッズフェスティバル」（参加無料）を開催いたします。

当フェスティバルは、子どもたちが地域とのコミュニケーションを深め、楽しみながら自然環境やモノを大切にすることを学ぶという環境啓発を目的としたイベントです。当社は、昨年11月にアクアウォーク大垣（岐阜県大垣市）にて開催以来、2回目となります。

当日は、小学生以下の子どもたちだけで行う、物とお金の大切さを学ぶ場として大人気のフリーマーケット「MOTTAINAI キッズフリーマーケット」や「お魚博士」として活躍する「さかなクン」が、お魚の不思議や海の環境について分かりやすく解説する「おさかな講座」など、親子で楽しめるイベントを実施します。



キッズフリーマーケット（イメージ）

《概要》

- 実施期間 2018年6月16日（土）10：00～17：00
- 実施場所 エアポートウォーク名古屋
愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1番8
- イベント内容
 - ① **MOTTAINAI キッズフリーマーケット** ※要予約
場所 3F エコキッズスペース
時間 1回目 12：30～13：30、2回目 15：00～16：00
対象 小学生以下の子ども（出店は小学3～6年生・出店料300円）
 - ② **さかなクンの「おさかな講座」**
場所 3F イベントステージ
時間 1回目 10：45～11：30、2回目 13：45～14：30
 - ③ **理科実験教室** ※要予約
場所 3F イベントステージ前
時間 12：15～13：15
対象 小学中・高学年（定員30名様）
 - ④ **ECO 楽レシピ料理教室**
場所 3F イベントステージ
時間 1回目 11：30～11：45、2回目 14：30～14：45
 - ⑤ **「MOTTAINAI 思い出缶詰づくり」ワークショップ**
場所 3F イベントステージ前
時間 15：30～17：00
対象 中学生以下（先着100名様）
 - ⑥ **マルハニチロ商品展示コーナー**
場所 3F イベントステージ前

<参考資料>

■ MOTTAINAI キャンペーンとは

MOTTAINAI キャンペーンは、Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）とかけがえのない地球資源に対する Respect（尊敬の念）が込められている言葉「もったいない」を、環境を守る国際語「MOTTAINAI」とし、地球環境に負担をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築を目指す世界的な活動です。グリーンベルト運動の創始者であるワンガリ・マータイさんが提唱し、2005年からスタートしました。

国内企業の賛同を受けて伊藤忠商事などが運営し、オリジナル商品、フリーマーケットなどの収益金の一部や、クリック募金で集まった募金を「グリーンベルト運動」へ寄付するなど、様々な形でワンガリ・マータイさんの植林活動を支援しています。MOTTAINAI キャンペーンを通じた寄付で実施する植林事業「MOTTAINAI GREEN PROJECT ～緑のMOTTAINAI～」は、ケニア・キエニ地区に植林する計画として、現在も植林活動を継続しています。



■ ワンガリ・マータイさんについて

グリーンベルト運動創設者。ケニア共和国元環境・天然資源省副大臣。生物学博士。国連平和大使。旭日大綬章受章者。MOTTAINAI キャンペーン提唱者。

1940年、ケニア・キエニ生まれ。

1977年貧しい女性たちと「グリーンベルト運動」という植林活動を開始。政府の弾圧を受けながらも、運動にはこれまでに延べ10万人が参加し、植えた苗木は5100万本に上ります。2004年、環境や人権に対する長年の貢献が評価され、環境分野で初めて、アフリカの女性としても初めて、ノーベル平和賞を受賞しました。

2011年9月25日（日本時間26日）、卵巣がんのためケニア・ナイロビの病院で死去。享年71歳。



■ グリーンベルト運動について

ワンガリ・マータイさんが、祖国ケニアの環境保護と住民の生活向上を目的に、1977年から非政府組織（NGO）として始めた植林活動。たった7本の木を植えることからスタートしたこの運動は、これまでにケニアをはじめとするアフリカ大陸全土で約5100万本もの木を植えてきました。また、植林には貧困に苦しむ女性を中心にのべ10万人が参加。環境保護にとどまらず、女性の地位向上やケニア社会の民主化にも大きく寄与しています。



以上